

# 学校関係者評価委員会会議録

(大原簿記情報ビジネス医療福祉保育専門学校)

## 1. 会議日時

2019年8月7日(水) 15時00分～16時00分

## 2. 場 所

大原学園高崎校 10階 10C教室

## 3. 学校関係者評価委員

小嶋 一夫 様 (株式会社群馬バス 旅行営業部 部長)

中嶋 文雄 様 (近隣住民 ファーストファシリティーズ群馬株式会社)

大谷 優作 様 (本校卒業生 株式会社ファクトリージャパングループ)

鈴木 瑠波 様 (本校卒業生 群馬県学校事務 (二葉特別支援学校))

鈴木 幸希 様 (本校卒業生 社会福祉法人報徳至誠会 児童養護施設桑梓)

(欠席者) ※委員長一任

金光 寛之 様 (高崎経済大学 教授)

柳澤 景子 様 (社会福祉法人岳雄会 幼保連携型認定こども園エドゥカーレ城之内 園長)

新井 良平 様 (本校卒業生 富士ゼロックス群馬株式会社)

(事務局)

古堀 照久 (委員長)

外山 和哉

松山 賢志

棗 正志

小林 美千恵

#### 4. 会議録

(1) 挨拶 大原学園高崎校 校長 古堀照久

(2) 2018年度各コース実績・カリキュラムに関する報告（事務局）

大原学園全国専門課程の就職内定率や公務員採用率など、例年同様に好成績を収められている。また、大原学園高崎校の実績としても、学園全体の成果に見劣りしない成績が残せている。その他、各コースに応じた資格取得や試験合格など、非常に素晴らしい成果が出せている。また、各コースとも運営時期によって多少の差異はあるものの、欠席・遅刻・早退を抑止するための取り組みがなされており、結果、退学率の抑止につながっている。

(3) 自己点検・評価報告について（事務局）

大原学園高崎校の平成30年度における自己点検・評価については、全般的に良好な結果であった。学校運営は、意思決定システムが確立されており、円滑な運営が行われている。また、教育理念に基づいた運営方針を明確に定め、教育理念を達成するための事業計画の策定、各種研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行えている。学校運営としては、予算計画・執行は規定に従って適切に行っており、財務状況も安定している。昨年度、資格取得においては、指導カリキュラムの精査、専門的技能を習得するための実践的教育のブラッシュアップを図り、各種検定試験において安定した資格合格率並びに就職率を維持することができた。2019年度も、引き続き高い実績を残すためには、教職員の資質向上は非常に重要であると考えている。

(4) 重点項目報告・学外委員からの助言

➤ 重点項目1：『就職教育と即戦力となる人材育成』について

《現状・達成指標》

就職内定率、公務員採用率など、十分な成果をあげることができている。今後も学生の個性や特性を把握し、適切な進路指導を行うことで、内定後の調査結果を精査の上、学生満足度を高めていく。

《学校関係者評価委員からの助言》

- ・就職してみて初めて学んだことが生きてくる。自分自身が在学中や新人の時には、そのことを感じにくいので、いかに在学中に社会を意識させられるかが、重要になってくるように思う。そのため、在学中に社会を意識させてより実践的なことを体験できるのかということも重要になってくる。
- ・最近では、メンタルが弱い若者（新人）が多いなか、管理職（上司）や先輩がいかに個性を見抜けるかが重要だと思う。在学中に、メンタル面を強くするための取り組みなどもお願いしたい。

➤ 重点項目 2：『資格取得率の向上と実践教育』について

《現状・達成指標》

各種検定試験が難化傾向にある中、資格取得実績は安定的に高い率を維持できている。合格率向上のため、教職員は常に最新の知識、指導力、実践教育を行うために、組織的な研修を行っている。

《学校関係者評価委員からの助言》

- ・就職は、能力や資格取得も重要だが、人物を重視することは今までも、これからも変わらない。資格取得のほか、人間関係（上下関係や横のつながり）を重視できる人材を育成して欲しい。
- ・資格取得の向上もさることながら、大原は挨拶や礼儀など、基本的に人材育成ができている。色々な実習生がやってくるが、保育士実習にも関わらず、子どもとの関わりがわからない実習生などもある。その点、大原生は大学生や短大生などと比べても、遜色なく活躍している。
- ・例年、新人スタッフ大学生よりも、専門学校生が多く入ってきている。職種によって異なるが、学歴よりも資格や知識、技術を重視することもある。

➤ 重点項目 3：『地域活動（地域貢献）を通じた社会性の向上』について

《現状・達成指標》

地域貢献を目的として、多くの学生がボランティア活動に参加しており、延べ参加人数やボランティア依頼団体は、毎年増加傾向にある。また、昨年度においては、2つの団体、協会から感謝状をいただくことができた。

《学校関係者評価委員からの助言》

- ・大原学園高崎校の学生がボランティアに参加していることは承知している。高崎市や社会福祉協議会の広報紙に載っているのをよく見ている。
- ・今後は、各団体や協会からの要請でボランティアをするだけでなく、学生が自らボランティア活動を企画、実行する、自主的に清掃活動を行うなどする、と更に地域へ貢献できると思う。

## 5. 学校関係者評価委員会総括

学生の幸せな就職、資格取得率や公務員合格率の向上などをテーマに掲げ、教職員が一丸となって学校運営や教育活動に取り組んでいる。その中で、各学科とも社会で即戦力となるための知識や技能、社会性を身につけるための教育を提供している。引き続き、重点課題や自己評価（達成度）の低い項目の改善に向けた取り組みをしてほしい。今後も学校関係者評価委員一同、客観的な視点から様々な提言をして、大原学園高崎校が社会からの信頼を得られるように助言していきたい。